

新年明けましておめでとう
ございます。

町民の皆さまにはお元気で
お正月をお迎えのことと存じ
ます。心からお慶び申し上げ
ます。

昨年は、新型コロナウイルス
の影響を、都市圏だけでな
く、日本全国において、大き
く受けることとなってしま
いました。その影響は、ウイル
ス感染を防ぐあらゆる対策を
実施する国・県・市町村だけ
でなく、私たち国民の日々の
生活に襲いかかりました。町
民の皆さまのご家族、または
ご親戚の中にも、コロナ禍に
おいて、社会的、精神的な
被害にあわれた方々がいらっ
しやると拝察し、心からお見
舞い申し上げます。

全国統一した制約期間や社
会生活の制限がこれほど長引
く状況は、私をはじめ多くの
町民の方々にも、初めての経
験になったところだと思いま
す。

町内においても、飲食店を
はじめ、多くの企業において
景気低迷が続いています。こ
れを少しでも解消すべく、多
くの施策を実施していますが、
コロナ禍の影響が長期化し、
予断を許さない状況が続いて

います。

さらに、高齢者の多い本町に
とっては、町民の新型コロナウ
イルスの感染は、都会に住む人
以上に重症化するリスクが大き
く、危惧するところであります。

また、教育現場の子どもたち
は、先生や友人たちとの大声で
の親しい会話や笑い声、スポー
ツとともに汗をかきながら技を
競い合う姿、ごく平凡なスキン
シップなど、学校に通常存在し
ているはずの日常が影を潜め、
学校生活を送っています。喜怒哀
楽などの感情を素直に表現で
きる日常生活、さまざまな場面
が、いかに素晴らしく尊いもの
かを、私自身が実感し、懐かし
ささえ、感じてまいります。

一日も早く、コロナ禍に立ち
向かう「ワクチン」の完成を願
うものであります。

さて、鬼北町では、現在、コ
ロナ禍への対応施策を展開す
る一方、2年前の西日本豪雨災
害の復旧事業を継続しています
が、単独・補助災害合計349
カ所という空前の被害箇所数に
至っている関係上、施工業者の
マンパワー不足という状況も発
生し、全ての事業が完了に至っ
ている訳ではありません。願う
のは、被災された方々が、一刻
も早く元の生活に戻られるこ

と、また、基本的な農林水産
業・商業活動の資本整備が復旧
できることとあります。復旧事
業3年目の令和3年度を最終年
度と位置づけて推進してまい
ります。

さらに、福祉施設や学校施設
において、現代の社会情勢にふ
さわしいサービス体系の構築を
図ることや地域の財産を活用し
た新しい産業の創出など、鬼北
町に必要な施策を展開し、さら
なる住民サービスの向上に向け
て、変わらぬ情熱を持ち、町政
のかじ取りを行っていきたく
と考えているところであります。

「鬼北町を活気あふれる町に
したい」、「心豊かな町にしたい」
という信念を胸に、鬼北町のま
ちづくりを傾注してまい
りたいと考えていますので、変
わらぬご指導・ご支援を賜りま
すようお願い申し上げます。

結びになりますますが、令和3年
が皆さまにとりまして輝かしい
1年になりますよう、心からご
祈念申し上げます、新年のご挨拶と
させていただきます。

鬼北町長
兵頭 誠亀

あいさつ

と鬼北町のこれから